



2010年4月2日

“国際化学オリンピック” 日本代表が決定！！

～ 初の自国開催で過去最高の成績を目指し、さらなる研鑽へ～

「夢・化学-21」委員会
日本化学会化学教育協議会

毎年1回、世界中の高校生が集まって化学の実力を競い合う「国際化学オリンピック」。今年7月に行われる第42回日本大会に参加する日本代表生徒がこのほど、最終選抜試験を経て正式に決定しました。日本代表生徒に選ばれたのは以下の4名です。

浦谷 浩輝(うらたに ひろき)	滋賀県立膳所高等学校 2年(16歳)
遠藤 健一(えんどう けんいち)	栄光学園高等学校 3年(17歳)
片岡 憲吾(かたおか けんご)	筑波大学附属駒場高等学校 3年(17歳)
齊藤 颯(さいとう はやて)	灘高等学校 2年(16歳)

〔注〕50音順。学年、年齢は2010年4月2日現在。学年は新学年で表記

日本代表生徒の選出は日本化学会化学教育協議会の化学グランプリ・オリンピック委員会 オリンピックワーキンググループ(オリンピックWG)が行っています。オリンピックWGは、昨年9月、「全国高校化学グランプリ2009」の成績優秀者19名及び日本化学会化学教育協議会支部から推薦を受けた者2名の計21名を日本代表候補として認定しました。本年1月6日に第1回選抜考査(筆記)を実施し、受験した20名の中から成績上位者9名を“日本代表最終候補”に選抜しました。そして3月25日(木)～28日(日)に、日本代表最終候補の合同合宿を工学院大学・武蔵大学ほかで行い、実際のオリンピックを想定した4時間に及ぶ筆記試験と同じく約4時間に及ぶ実験試験による最終選抜試験を課して、日本代表生徒4名を決定しました。

第42回国際化学オリンピック(日本大会)は、7月19日(月)から28日(水)まで、早稲田大学西早稲田キャンパスおよび東京大学駒場キャンパスで開催されます。日本では初開催となる同大会には、世界70の国と地域から280名の優秀な高校生が一堂に集まり、筆記試験と実験試験で化学の実力を競い合うほか、様々なエクスカージョンを通して生徒同士が国際的な交流を深めていきます。なお、日本代表生徒に選ばれた4名は、大会までの期間、自主トレーニングを継続しながらオリンピックWGの関係者らによる特別指導を受け、さらに研鑽を積んでいきます。4月24日(土)・25日(日)には歴代のオリンピック代表OB、OGとの合宿を行うほか、5月以降も、実際の実験試験を想定した訓練合宿など様々なトレーニングプログラムを実施する予定です。

◆第42回国際化学オリンピックの主なスケジュール◆ 於：東京(早稲田大学、東京大学)

7月19日(月)	参加者到着・登録、歓迎会
7月20日(火)	開会式
7月22日(木)	実験試験(5時間)
7月24日(土)	筆記試験(5時間)
7月27日(火)	閉会式(成績発表)
7月28日(水)	解散

※上記以外の日は、エクスカージョン(遠足等のイベント)などが行われます。

◆この件に関するお問い合わせ先◆

日本化学会／大倉、富樫、遠藤	TEL 03-3292-6164／FAX 03-3292-6318
「夢・化学-21」委員会事務局(日本化学工業協会内)／井上	TEL 03-3297-2555／FAX 03-3297-2615
ホームページ 国際化学オリンピック(http://icho.csj.jp/) 夢・化学-21(http://www.kagaku21.net/)	

<参考資料>

【日本代表生徒のコメント】

※学年は2010年4月2日現在

浦谷 浩輝さん／滋賀県立膳所高等学校(滋賀県)2年

「日本代表に選んで頂けて光栄です。国際化学オリンピックを目標にして化学グランプリに参加しましたが、候補に入れただけでも大変幸運なことだと考えていたので、代表に選ばれたことに驚いています。お世話になった方々には大変感謝しています。代表としての責任を自覚して、ふさわしい姿勢で臨みたいと思います」

遠藤 健一さん／栄光学園高等学校(神奈川県)3年

「僕は二回目の代表ということで、去年の経験を活かし、今年も頑張っていきたいと思います。特に、二年連続で金メダルを獲得した日本代表はまだいないので、それを大きな目標にして努力します。今回はホスト国として、外国からくる生徒との交流も大切にしていきたいと思います」

片岡 憲吾さん／筑波大学附属駒場高等学校(東京都)3年

「筆記試験も実験試験もとても難しかったので、まさか自分が代表に選ばれるとは思っていませんでした。代表に選ばれたと聞いたときはとても驚きました。まだわからないことやできないことがたくさんあるので、メダルを取れるよう努力していきたいと思っています」

齊藤 颯さん／灘高等学校(兵庫県)2年

「日本代表に選ばれたことへの嬉しさと同時に、本当に自分で代表が勤まるのだろうかという不安もあります。代表になったからといって終わりではなく、国際化学オリンピックへはここからがスタートです。まだまだ自分には知らないことが沢山あるので、金メダルを取れるようにもっと努力したいと思います」

【国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは】

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会です。代表は1カ国最大4名まで出場でき、近年では約70の国と地域が参加する一大国際大会となっています。大会は、毎年7月に10日間開かれ、個人戦として、それぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦します。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。日本は2003年のアテネ大会より参加しています。

【日本代表生徒のこれまでの成績】

		金	銀	銅
2003年	ギリシャ・アテネ大会	0	0	2
2004年	ドイツ・キール大会	1	0	3
2005年	台湾・台北大会	0	1	3
2006年	韓国・慶山大会	1	3	0
2007年	ロシア・モスクワ大会	0	0	4
2008年	ハンガリー・ブダペスト大会	0	0	4
2009年	イギリス・ケンブリッジ大会	2	1	1

【第42回日本大会までの合宿スケジュール(予定)】

4月24日(土)・25日(日)	OB・OGとの合宿	於: 日本化学工業協会
5月29日(土)・30日(日)	実験訓練合宿	於: 徳島大学
6月19日(土)・20日(日)	補強合宿	於: 芝浦工業大学
7月17日(土)・18日(月)	直前合宿	於: 日本化学工業協会

【日本代表の写真の件】

日本代表生徒の写真につきましては、次のメールアドレス(日本化学会)にメールをいただければ、折り返し送付いたします。

grand-prix@chemistry.or.jp